

# 各プロジェクトによる取組



## 確かな学力の向上をめざして

木戸小学校では、自分の考えを表現したり、対話することで相手の考えをより深く理解したりする学び合いを重視した学習を中心に進めていきます。子どもたちに確かな学力を身に付けるよう、以下の取組みを行っていきます。

### ① 職員研修の取組

「自分の考えを表現し、互いに学び合う授業づくり」を研究主題として、全職員が授業実践をします。また外部講師から研修を受ける機会を設定したり、学力テストの結果分析を行ったりして、職員の指導力向上を図ると共に学力の向上を目指します。

### ② 木戸ベーシックの徹底

教室に掲示してある『木戸ベーシック（学習）』を中心に学習規律を身につけ、学習しやすい環境を作り上げるよう、ルールを徹底します。

### ③ 家庭学習習慣化に向けた取組

中学校区で家庭学習強調週間（11月）実施し、家庭学習の定着を図ります。授業と家庭学習の両面で、主体的に学び続ける力を育てます。

子どもが自分の考えをもって進んでかかわり合う活動を意図的に取り入れた授業を取り入れ、楽しみながら主体的に学べるよう、取り組んでいきます。

（ 研究主任 丸山希美子 ）

## 学級力の向上による支持的風土づくりをめざして

学級力とは、学び合う仲間としての学級をよりよくするために、

- ① 子どもたちが常に支え合って目標にチャレンジし、
- ② 友だちとの豊かな対話を創造して、
- ③ 規律ある安心できる環境のもとで、
- ④ 協調的な環境を創り出そうとする力 と定義しています。

学級力は、この定義を受けて5つの領域（能力）とその下位項目（学級のありたい姿）で構成されています。

「どのような学級にしたいのか」という学級づくりのイメージを子どもたち同士、そして教師と子どもたちが共有することが大切であり、その出発点で確認したいことがらでもあります。

本校では、数年前から学級力アンケートというものを実施しています。このアンケートを用いて、児童と学級担任が一丸となって学級力を高めています。本年度はこれがしっかりと支持的風土につながるよう取り組んでいきたいと考えています。

（ 生活指導主任 木村哲郎 ）

# 多様性を認め合う集団づくりをめざして

今年度の特別支援教育の重点目標は「個別最適な学びと合理的配慮の拡充」です。通常の学級においても、特別支援学級においても、子どもたち一人一人が自分の能力や個性を十分に発揮できるような支援の内容や手立てをお子さん、保護者の皆様と一緒に考えていきます。また、互いのよさや違いを認め合い、学び合える学級集団づくり、支え励まし合える温かい人間関係づくりに努めていきます。

特別支援教育コーディネーターは、学校生活において困り感を抱いているお子さんのサポートをしていきます。学級担任や保護者の皆様と相談し、必要であれば外部機関と連携をとって、全ての子どもたちがよりよく学校生活を送ることができるようにお手伝いしていきます。些細なことでも構いませんので、いつでもお話を伺いたいと思います。

子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるように、学校全体で取り組んでいきたいと思えます。

( 特別支援教育コーディネーター 西村知子 )